

# かんきつ園でのドローンによる黒点病防除：飛行経路と混用散布

ドローン散布の効率化・さらなる省力化のため、有効な飛行経路・混用散布(殺菌+殺虫剤)を検討した。

## 混用試験 (R4): ジマンダイセン水+殺虫剤

供試品種 南柑20号(24年生)

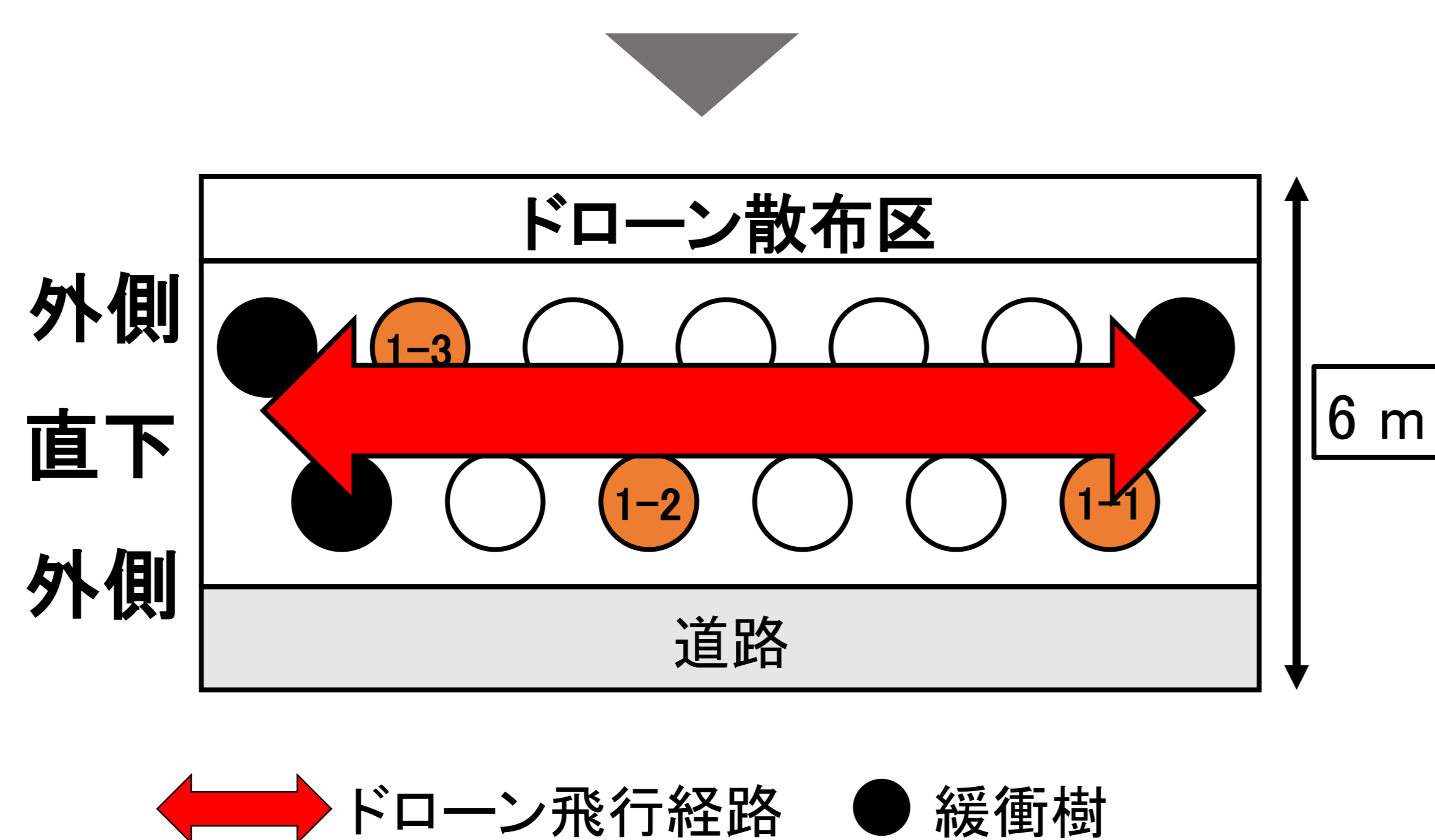
散布日	薬剤名	希釈倍率	
		ドローン (8L/10a)	手散布
6/3	モベントフロアブル	40倍	2,000倍
6/28	ダントツ水溶剤	24倍	4,000倍
8/9	アドマイヤーフロアブル	40倍	2,000倍
8/29	アグリメック	24倍	4,000倍
全日	ジマンダイセン水和剤	10倍	600倍



### 使用機体: AGRAS T20 (DJI社)

- 散布幅: 7 m
- 積載量: 16 L
- 自動航行可能 (本試験では手動航行)

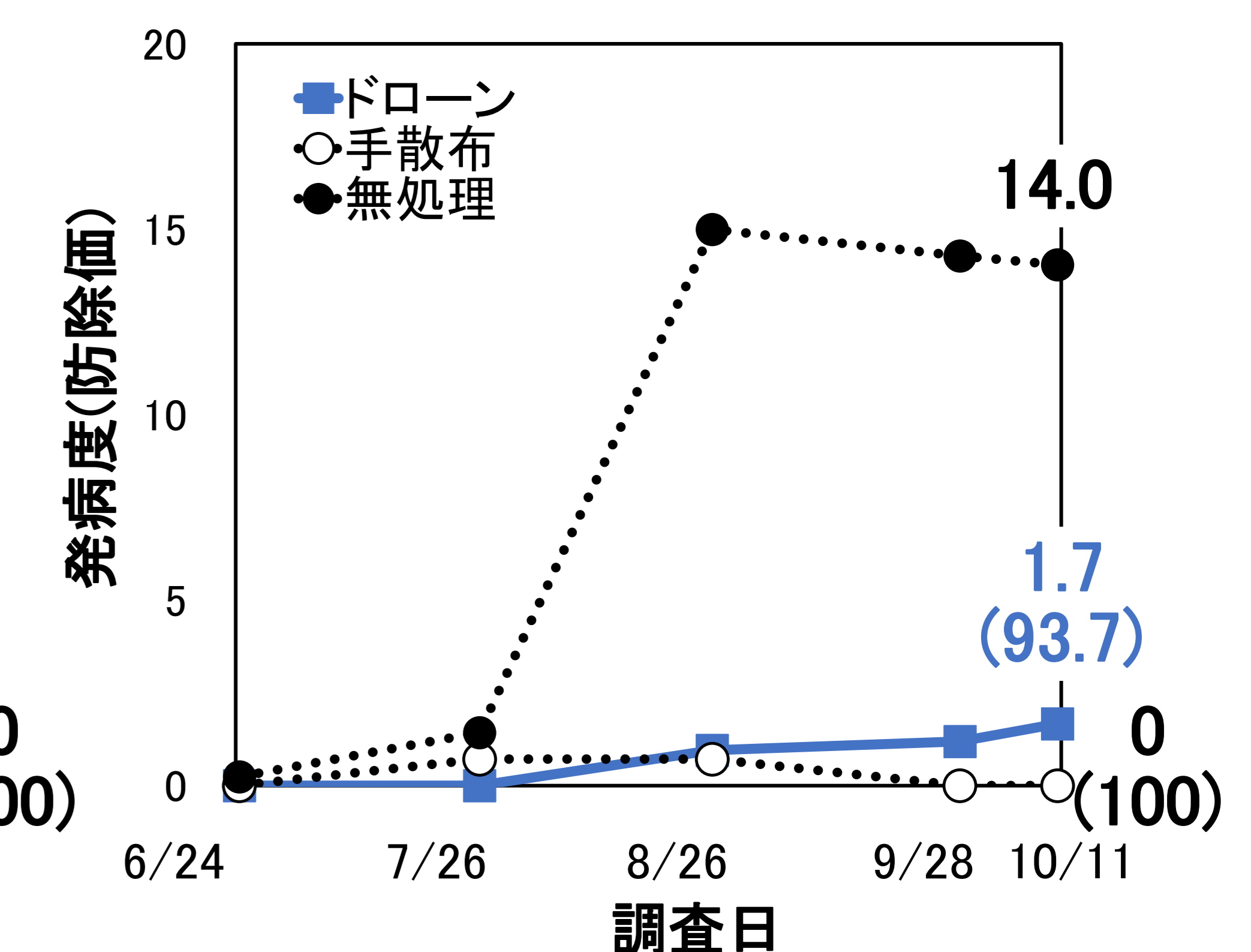
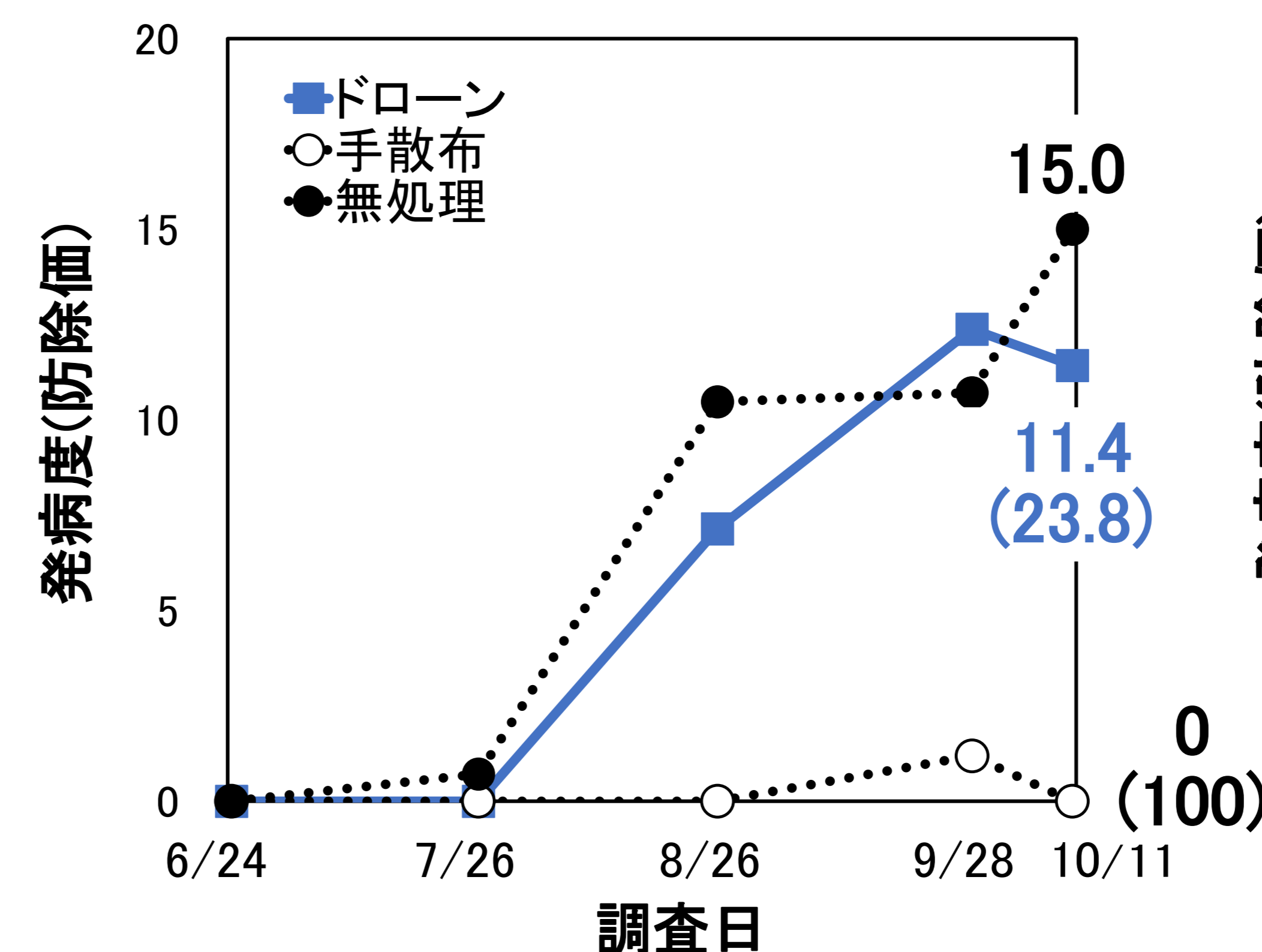
使用機体の**散布幅**を基準に経路決定



## ■ 発病度の推移

○外側: 防除効果**低い**

○直下: 防除効果**高い**



### 〈薬液の付着状況〉

(外側)

(直下)



付着ムラ

防除効果の  
ふれに影響?



- 機体の散布幅(7m)に基づく経路では**防除効果のふれが見られた**。これは**付着ムラ**が一因である。  
→ 散布幅を狭めた経路の設定。
- 混用散布による**薬害は確認されなかった**。  
→ 単用散布との効果比較が必要である。